

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 25日

事業所名 西宮すなご医療福祉センター さくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・5名通所しプラットホームを使用すると狭く感じるため場所の工夫をします
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・会議を開催し職員間での情報共有に努めました	・リハビリ職員が参加できなかったので会議に参加してもらうよう調整します
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	・評価を実施しホームページにも公表しました ・十分とは言えませんが母の思いをくみ取りながら処置や療育を実施しました	・業務改善にはつながらなかったため会議の議題にあげて話し合います ・今後も保護者からの意向を確認しながらより良い療育につながるよう検討を重ねていきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・評価は実施しホームページにも公表しました	・昨年度の評価を振り返り改善ができていないので来年度は会議の議題に挙げて話し合います
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第3者評価を行っていません
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・医ケア児の研修が開催されました ・院内外の研修に参加できるようにしています	
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・療育時間の中で看護師、生活支援員としてのアセスメントは常に行っています	・アセスメントツールはありませんが各業種の経験などを踏まえて会議や情報交換で実施している。今後も継続すると共に計画に反映できるように工夫していきます
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	・活動の狙いは表記されています	・現在の本人の段階や次の狙いなども共有できるように工夫します
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	・「発達支援」について支援内容に設定しています	・家族支援、地域支援は十分ではないため今後具体的にできるように検討していきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・会議を行いチームで立案しています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・会議で出した意見を取り入れ工夫しています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○			
	18		○	・その日には実施できないが後日スタッフ間でコミュニケーションをとっています	・今後も同様にスタッフ間で情報共有ができるようにコミュニケーションを取ります
	19	○			
	20	○		・半年に1回評価を実施しています	・今後も体調や支援方法について療育の中でモニタリングを行いながら職員間で情報共有し、計画の見直しなど複数職員で判断できるようにします
関係機関や保護者との連携	21		○	・必要時担当が参加しています	・今年度は要請はありませんでした。こちらからも必要時には他事業所と情報共有できるように連絡を取り合います
	22		○		・今後この様な支援ができる様検討します
	23		○		・今後この様な支援ができる様検討します
	24	○		・診療情報提供書を必ず頂いています	
	25		○		
	26		○		
	27		○		
	28		○		・感染予防のため実施できていません。
	29		○		・協議会に参加している職員と情報共有していきます
	30	○			
31		○	・療育時間の中で体調や活動支援のアドバイスを行っています	・プログラムとしては行っていませんが、今後も療育の中でアドバイスできるようにしていきます	
	32	○			
	33	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・同窓会を行い、卒業生とその保護者との交流ができました	・行事等療育の中でできる保護者交流の場を提供していきます ・保護者会はありません。保護者主体とした会ができた時には支援していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・定期的にさくらんぼだよりを発行しています	・今後も定期的な発行に努めます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	・マニュアルを策定し職員は施設の訓練に参加しています	・保護者に対して説明の時間を作るようにします
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・職員は施設の訓練に参加しています	・療育内容に組み入れて実施します
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		家族から情報提供してもらい資料として整理しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修に参加しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。